

opinion

うえだ あつお
上田 惇生さん

ドラッカー学会代表・立命館大客員教授



38年生まれ。経団連会長秘書、同広報部長、経済広報センター常務理事、ものづくり大教授などへて現職。ドラッカーの主要著作をすべて翻訳している。著書に「ドラッカー入門」、最新の翻訳に「マネジメント」(全3巻)＝鎌田正平撮影



ピーター・ドラッカー (Peter Ferdinand Drucker 1909～2005年) オーストリア生まれの経営学者・コンサルタント。経営、経済、社会、政治、哲学を論じ「知の巨人」と呼ばれた。「企業の社会的責任」「知識労働者」「民営化」「自己目標管理」などの概念を打ち出し、ビジネスの世界を中心に大きな影響を与えた。著書は「断絶の時代」「ポスト資本主義社会」「経営者の条件」など約40冊。日本でも400万部以上売れた。日本通として知られる。

資本主義はどこへ

もし今、この2人が生きていたら。大恐慌下の73年前、その後の経済学を変える「一般理論」を書いた経済学者のケインズと、同じく恐慌を経験し「マネジメントを発明した男」と呼ばれる経営思想家のドラッカー。経済政策に企業経営に、どのような分析と提言をするだろうか。詳しい2人に聞いた。資本主義に基づく経済や社会はどう変化するのか。シリーズで考える。(聞き手・刀裨館正明)

いとう みつはる
伊東 光晴さん

京都大名誉教授



27年生まれ。千葉大教授、京都大教授などを歴任。著書に「経済学は現実をこたえうるか」「伊東光晴 経済学を問う」(全3巻)「現代に生きるケインズ」など。共著に「コメントール ケインズ一般理論」などがある＝松本敏之撮影



ジョン・メイナード・ケインズ (John Maynard Keynes 1883～1946年) 20世紀を代表する英国の経済学者。「雇用・利子および貨幣の一般理論」で主流派経済学を根本から批判、働きたいのに働けない「非自発的失業」が生まれることを立証し、購買力に裏づけられた「有効需要の原理」に基づく「新しい経済学」を打ち出した。また、経済学は自然科学と異なり、人間社会の現象を経済的側面から研究する「モラル・サイエンス」だと強調した。

ドラッカーなら

会社は公器。社会の安定めざせ

「ドラッカーの著作は企業経営者をはじめビジネス界で広く読まれています。上田さんは草稿段階から相談を受けるなど約30年の親交があり「私以上に私の著作に詳しい」「日本で私の分身」と言われたそうです。彼は企業人に何を訴えるでしょう。

「挑戦しろ、です。挑戦を続けなければ組織は衰えるし、有能な社員は腐るか出て行ってしまふ。量の成長が無理なら質の成長を目指せと言っています」

「実行すべきはマーケティング(顧客の創造)、イノベーション(技術革新)、生産性の向上です。生産性を上げれば、市場が縮んでいるから、午後3時

「『派遣切り』が問題になっています。『日本でこんなことが起こるとは夢にも思わなかったでしょう。働く人にそれぞれの能力を發揮してもらおうという、本来の趣旨から外れた使い方をしています』

「企業は何のためにあるのか、と常に問いかけています。企業は人々のためにあるべきです。それが目的のために言うから、社員が関係し、幹部が関係し、トップ

「『景気が回復する日は、新しい時代が来る日でも、新しい旅が始まる日でもありません。単に馬を乗り換える日にすぎません。歴史はつながっています。今始めることは、景気が回復した後にも続きます。ドラッカーが我々に忠告するのは、社会を壊すようなことはするな、重要なのは人であり社会なのだから、という事です』

大不況 政府・企業がすべきことは?

「『不況になるとみんなケインズ派(ケインズ学)になる』と皮肉を言うに違いありません。ケインズは『ケインズ学ではないのは私だけだ』と述べていましたから」

「ケインズ本人の経済学と財政出動型の『ケインズ学』の『不況になるとみんなケインズ派(ケインズ学)になる』と皮肉を言うに違いありません。ケインズは『ケインズ学ではないのは私だけだ』と述べていましたから」

「『不況期こそ、企業がありようが問われます。ドラッカーは『企業たるもの、社会の安定と存続に寄与しなければならぬ』と論じました。『最晩年の著作『経営者に贈る5つの質問』で『組織はすべて、人と社会をよりよいものにするために存在する』と述べています。ドラッカーの経営思想の神髄です』

「『企業は人々のためにあるべきです。それが目的のために言うから、社員が関係し、幹部が関係し、トップ

「『不況期こそ、企業がありようが問われます。ドラッカーは『企業たるもの、社会の安定と存続に寄与しなければならぬ』と論じました。『最晩年の著作『経営者に贈る5つの質問』で『組織はすべて、人と社会をよりよいものにするために存在する』と述べています。ドラッカーの経営思想の神髄です』

「『不況期こそ、企業がありようが問われます。ドラッカーは『企業たるもの、社会の安定と存続に寄与しなければならぬ』と論じました。『最晩年の著作『経営者に贈る5つの質問』で『組織はすべて、人と社会をよりよいものにするために存在する』と述べています。ドラッカーの経営思想の神髄です』

ケインズなら

効果薄い財政出動。弱者保護を

「麻生首相は『最も早く不況から脱するのは日本』と言っています。ケインズなら現在の不況をどう見ますか。

「『彼が批判してやまなかったのは、このような事態を生んだ新自由主義的な経済体制とそれを後押しした経済学です。それが80年代以降、復活した。不況はそのなせるわざだ、と言っています』

「『ケインズ本人の経済学と財政出動型の『ケインズ学』の『不況になるとみんなケインズ派(ケインズ学)になる』と皮肉を言うに違いありません。ケインズは『ケインズ学ではないのは私だけだ』と述べていましたから」

「『ケインズ本人の経済学と財政出動型の『ケインズ学』の『不況になるとみんなケインズ派(ケインズ学)になる』と皮肉を言うに違いありません。ケインズは『ケインズ学ではないのは私だけだ』と述べていましたから」

「『ケインズ本人の経済学と財政出動型の『ケインズ学』の『不況になるとみんなケインズ派(ケインズ学)になる』と皮肉を言うに違いありません。ケインズは『ケインズ学ではないのは私だけだ』と述べていましたから」

「『ケインズ本人の経済学と財政出動型の『ケインズ学』の『不況になるとみんなケインズ派(ケインズ学)になる』と皮肉を言うに違いありません。ケインズは『ケインズ学ではないのは私だけだ』と述べていましたから」

「『ケインズ本人の経済学と財政出動型の『ケインズ学』の『不況になるとみんなケインズ派(ケインズ学)になる』と皮肉を言うに違いありません。ケインズは『ケインズ学ではないのは私だけだ』と述べていましたから」

「『ケインズ本人の経済学と財政出動型の『ケインズ学』の『不況になるとみんなケインズ派(ケインズ学)になる』と皮肉を言うに違いありません。ケインズは『ケインズ学ではないのは私だけだ』と述べていましたから」

「『ケインズ本人の経済学と財政出動型の『ケインズ学』の『不況になるとみんなケインズ派(ケインズ学)になる』と皮肉を言うに違いありません。ケインズは『ケインズ学ではないのは私だけだ』と述べていましたから」

「『ケインズ本人の経済学と財政出動型の『ケインズ学』の『不況になるとみんなケインズ派(ケインズ学)になる』と皮肉を言うに違いありません。ケインズは『ケインズ学ではないのは私だけだ』と述べていましたから」

「『ケインズ本人の経済学と財政出動型の『ケインズ学』の『不況になるとみんなケインズ派(ケインズ学)になる』と皮肉を言うに違いありません。ケインズは『ケインズ学ではないのは私だけだ』と述べていましたから」

「『ケインズ本人の経済学と財政出動型の『ケインズ学』の『不況になるとみんなケインズ派(ケインズ学)になる』と皮肉を言うに違いありません。ケインズは『ケインズ学ではないのは私だけだ』と述べていましたから」

「『ケインズ本人の経済学と財政出動型の『ケインズ学』の『不況になるとみんなケインズ派(ケインズ学)になる』と皮肉を言うに違いありません。ケインズは『ケインズ学ではないのは私だけだ』と述べていましたから」

「『ケインズ本人の経済学と財政出動型の『ケインズ学』の『不況になるとみんなケインズ派(ケインズ学)になる』と皮肉を言うに違いありません。ケインズは『ケインズ学ではないのは私だけだ』と述べていましたから」